

2023年度普及啓発事業について

1 交流セミナー開催

- ・今年度の交流セミナー「もっと身近に！手話や点字でコミュニケーション～みんなで、つながろう！学んで、世界を広げよう～」では、初めて民間事業者とコラボレーションした。
 - ・目標としていた「普段障害者と接する機会が少なく、関心が薄い層への普及啓発」に一定の効果を得ることができたと考えられることから、2023年度も引き続き、同様の手法で交流セミナーを開催予定。
 - ・2022年度のゲストである HANDSIGN が聴覚障害と関係が深いことから、2023年度は視覚等の異なる障害と関係が深い著名人を選定することを検討。
 - ・また、2022年度に委員から意見として挙げた以下の点を盛り込むことを検討する。
 - ①解説する障害種別を見直す（知的障害、発達障害の追加等）。
 - ②障害のある方の動画出演ではなく、障害のある方が直接参加する手法や、参加者と直接交流できる手法を検討する。
- ※あいちアール・ブリュット展において愛知労働局（ハローワーク）と連携して実施している企業向けの「障害者雇用促進セミナー」は継続開催の予定。

2 コミュニケーション支援アプリの説明リーフレットの増刷

2020年度に作成したリーフレットに、今年度新たに追加する多言語表示機能の説明等を加えて、増刷、配布する。

3 コミュニケーション支援アプリの運用

継続運用し、利用者からの御意見を踏まえ、アプリの更新を図っていく。

※ これらと並行して、視覚障害者等へのコミュニケーション支援（特に、災害時の避難所等での支援を想定）について、取組の検討を進めていく。

【参考】これまでの普及啓発事業

2016年10月：手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定

2016年度：条例説明リーフレット・ポスター作成及びシンポジウムの開催

2017年度：子ども向け普及啓発ワークシートの作成及び条例PRイベントの開催

2018年度：企業向けリーフレット及び障害者理解促進イベントの開催

2019年度：市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

2020年度：コミュニケーション支援アプリ開発・普及

2021年度：企業向け小冊子作成・配布及びシンポジウムの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

2022年度：条例説明リーフレットの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

